

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本広域「サイクリングインスタラリー」
事業主体 (連絡先)	信州サイクリングプロジェクト 0263-32-9230
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア. 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,445,000 円 (うち支援金: 4,356,000 円)

事業内容

1、「信州アルプスフォトチャリー」の実施

概要: 自転車による Instagram を用いたフォトラリー企画。松本市街地、松本広域にチェックポイントを設定し、観光周遊を促す。昨年より期間を長く設け、広いリーチを目指した。

2、「信州アルプススタンプチャリー」の実施

概要: 新しい企画として、アプリを用いたスタンプラリーを実施。所定のサイクリングスポットを巡り、所定の数のスタンプを集めて景品が当たる。観光周遊を促した。

3、テレビ展開

情報番組内での企画として実施。元五輪代表の鈴木雷太氏や県内タレントに出演頂き、策定ルートを基に、実際のコースを試走、地域の PR を図り、自転車観光や利用について多面的に周知、認知した。



【信州アルプスフォトチャリー、スタンプチャリー】

事業効果

1、「信州アルプスフォトチャリー」

Instagram 公式アカウント: フォロワー550人 投稿数: 1800 作品以上

県内外の幅広い層の参加者を獲得することができたがまだライトユーザーへの訴求が課題だと感じた。SNS での発信により、魅力的な観光地・景勝地が広く PR できている。

2、「信州アルプススタンプチャリー」

参加者: 249 人

初めての実施で、想定ほど参加者を集められなかった。告知方法を見直す必要があると感じた

3、テレビ展開

情報番組内での企画として実施。元五輪代表の鈴木雷太氏や県内タレントに出演頂き、魅力を発信できたことで多くの投稿に繋がりが、かつ地域の観光資源や景勝地を再認識してもらった。きっかけとなった。

今後の取り組み

3 年間フォトチャリーを実施し、アカウントも確保でき、認知もして頂けたと思うので今後の自転車に関わる事業において告知、発信など利用していきたい。ライトユーザーの獲得という課題に向け、観光だけでなく違った視点での自転車利用を考えて、もっと広げていきたい。初の試みとしてアプリを使った企画を行ったが、こちらについても一定の手ごたえはあり、この座組を別企画でも利用していきたい。発信、啓発するだけでなく「参加型」企画を作っていく、自治体とのタイアップを目標に、ノウハウを活用しつつ、自転車利用促進という最大目的に寄与できるよう実行していきたい。

【目標・ねらい】

- ① サイクルツーリズムの活性化
- ② 観光周遊により観光資源の認知向上
- ③ 自転車利用促進

※自己評価【B】

【理由】

フォトチャリーについては想定通りの投稿数を獲得できたが、スタンプチャリーについてはもう少し参加者を増やしたかった。告知、発信方法を見直す必要があると感じた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある